

# 金メダリスト9人に県民栄誉賞を贈呈!

世界クラスの魅力資源にあふれる本県は、豊かな自然という舞台に、ヒト、モノ、文化、芸術などの花々が咲き誇る。それらは、とりもなおさず本県の「場の力」であり、明るい未来を創造する原動力だ。今回はその筆頭とも言える、県民栄誉賞について紹介する。



世界クラスの魅力資源  
World-class  
Natural and Cultural Assets

## 感動こそ活力の源

昨年夏、コロナ禍で沈滞した社会のムードに夢や希望を与えてくれたのは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で躍動したアスリートたちだ。本県出身の選手による活躍は目覚ましく、県内開催となった自転車競技とともに、全県が大いに沸いたことは、記憶に新しい。その功績を讃えるため、県は金メダルを獲得した選手9人に県民栄誉賞を贈呈した。

県民栄誉賞は、広く県民に敬愛され、県民に明るい希望と活力を与えることに顕著な功績のあった人に贈られるという趣旨から、中央に配置された県章は明るく輝く金色に加工され、県の花つづじで縁取られたデザインとなっている。

県民栄誉賞は、広く県民に敬愛され、県民に明るい希望と活力を与えることに顕著な功績のあった人に贈られるもので、これまでにバルセロナ大会・競泳金メダリストの岩崎恭子氏(1992年)、アテネ大会・体操男子団体総合金メダリストの水鳥寿思氏(2004年)、パラリンピック競泳4大会連続メダリストの河合純一氏(2004年)、ノーベル物理学賞受賞の天野浩氏(2015年)、ノーベル生理学・医学賞受賞の本庶佑氏(2019年)、ノーベル化学賞受賞の吉野彰氏(2020年)の6人に贈呈されている。今回新たに贈られた9人は、東京2020オリンピックで金メダルを獲得した、水谷隼選手、



**渥美万奈選手**  
ソフトボール・浜松市出身  
素晴らしい報告ができたことを私自身、嬉しく思っています。今後、人として精進し、ソフトボール競技の発展や普及に努めたいと思います。

**山崎早紀選手**  
ソフトボール・掛川市出身  
チームで勝ち取った金メダル。それを支えてくださった皆さんに感謝しています。そんなチームスポーツの魅力を発信し続けたいと思います。

**岩崎優選手**  
野球・静岡市出身  
皆さんから圧巻の投球だったと言われ、私自身も感無量です。今後も野球界のため、日本のために尽くしたいと思います。

**水谷隼選手**  
卓球・磐田市出身  
皆さんの応援が力になりました。ですから私こそ、ありがとうと言いたい。今後はスポーツ界全体を盛り上げるような力になりたいと思っています。

**伊藤美誠選手**  
卓球・磐田市出身  
オリンピックは無観客でしたが、テレビのむこうで皆さんが応援している、と信じていました。それが力になりました。今後も勝て、勝て、勝ての精神でがんばります。



贈呈式は数回に分けて開催された。



伊藤美誠選手、渥美万奈選手、山崎早紀選手、岩崎優選手の5人と、東京2020パラリンピックで金メダルに輝いた、鈴木孝幸選手、佐藤友祈選手、杉浦佳子選手、杉村英孝選手の4人だ。金メダリストの活躍に、歓喜、感涙し、明日への希望や活力を胸に抱いた県民は多いに違いない。

**スポーツ王国しずおかの底力**  
贈呈式に臨んだ川勝知事は、金メダリストの前に「今回の皆さんの活躍はまさに快挙。県民に大きな活力を与えた功績を今後も長く讃えるために、本日、県民栄誉賞を贈ります」と述べ、選手一人一人に盾と記念品を贈呈した。晴れやかな笑顔に包まれた受賞者の声を紹介する。

**鈴木孝幸選手**  
水泳・浜松市出身  
静岡にはスポーツ振興の土壌があります。その土壌をもっとより良いものにするため、競技者として、人として、今後もできる限りの努力を続けます。

**杉浦佳子選手**  
自転車・掛川市出身  
思ってもいなかった賞をいただき、大変光栄です。ですが、これは本当に皆さんのおかげ。心からお礼を申し上げます。

**杉村英孝選手**  
ボッチャ・伊東市出身  
県民の皆さんの応援があったからこそ金メダルです。今後はボッチャの普及に努めながら、またパリ大会の金メダルを目指します。

**佐藤友祈選手**  
陸上車いす・藤枝市出身  
このような形で県民栄誉賞を受賞させていただくことができて非常に光栄です。またパリ大会でもこのような表彰をしていただけるように精進していきます。